

平成 28 年度

2017 年 2 月 25 日

# 学校だより

第 36 号

ヒューストン日本語補習校

## 卒園・卒業証書授与式練習



2 月 18 日、1 ヶ月後に迫った卒園・卒業証書授与式の練習が始まりました。幼稚部、小学部 6 年、中学部 3 年が、カフェテリアで取り組んでいます。できる限り授業時間にかからないよう工夫して取り組んでいます。



## 第 6 回 PTA クラス委員会

今年度最後のクラス委員会となりました。1 年間大変お世話になりました。来年度への引継ぎもよろしくお祈りします。



(児童の作文より)  
「無題」

### 小学部 6 年 A 組 中村 泰

日本に一年ぶりに戻って、アメリカに来ると、いろいろなことをフレッシュに感じることができました。

特に感じたことが、幅広いにぎやかさです。アメリカでは、にぎやかな所とそうでない所の差が大きいです。住宅地は、比較的静かで都心の所はにぎやかです。

ところが、日本はあらゆる所がにぎやかです。例えば、住宅地から 5 分ぐらい歩けば、商店街があります。そしてそこからさらに都心の方に行けば、もっとにぎやかで何でもそろいます。アメリカでは、その代わりに都心に家があります。つまり、マンションなどが都心にあるわけで、家自体が都会です、だからアメリカの人はショッピングが好きなら、都会のど真ん中に住み、平和な静けさが好きなら、都会から少し離れた住宅地に住むわけです。これは、日本人の性格とアメリカ人の性格を表しているようにも思えます。

日本人には周りの人といろいろなことを合わせたがる傾向があります。(そのため、よく言われるのが、日本人に海でおぼれている人を助けさせるとき「みんなやっていますよ。」と言えば助けることです。) みんな、平和な静けさが好きな人も買い物好きな人も、住宅地に住めるわけです。この「周りに合わせる」という考えは、逆に言えば、「団結力がある」という意味です。早く近代化できたのもそのせいだと言えます。

アメリカ人には、「みんな違ってみんないい」という考えがあります。アメリカでは、個性を出すことが大事なのもこのせいです。そのために都心に家があったり、都心から離れた所に家があったりするわけですね。アメリカという国は、移民でできているため、個々の違いを受け入れて個性を大事にするのに長けているのですね。

その国のあり方というのは、その国の構造や歴史にすべて基づいていておもしろいですね。今の世界のあり方もすべてこのようなことに基づいているわけです。これから世界がどう動くかは、もしかしたらこの宇宙のあり方に基づくことになるのかもしれませんが、そのためにも今の国際問題からいろいろなことを学び「星際問題」という言葉ができるだけできないようにしましょう。

(中学部2年の国語授業より)

パネルディスカッション「いつ結婚すべきか」

【パネリストによる基調提案】

- A : ・ 周りが結婚していて自分だけしていないとカッコ悪い劣等感がある。  
・ 早い方が、結婚しやすい。  
・ 子育てを終わってからでも人生を楽しめる。
- B : ・ 20代は自分の生活をしっかり立ち上げる、将来について考えるべき。  
・ 20代は大切な時期—自分の本当に好きなことをする時期  
・ 経済的に安定していないので、収入を確立するべき。子育てに教育費が必要。
- C : ・ 離婚も多く結婚するメリットがない  
・ 一人であるほうが気楽  
・ 自分のスペースがなくなるのがいや。

【パネリスト討論】

- A : 結婚しても、自分のやりたいことができる。男性か女性、どちらにとって20代は大事なのか？
- B : 女性は老けるし、男性の方が結婚しやすい。職業でも、男性は20代が大事。大学で将来を決める人も多いが、学生の間は、学問に夢中で、仕事のことは社会人になってから考える人が多い。
- A : 結婚しても、仕事のことは考えられる。
- B : 結婚すると、仕事に集中できない。
- C : 浮気、家庭内暴力、離婚などもあるのに、どうして結婚したいのか？
- B : そういうことはあるが、その時は離婚しても良い。20~30代はひとりでもがんばる。40代からは支えあう。
- A : 20代からでも支え合う人がいる人が良い。
- B : 20代から結婚相手をさがしてしまい、恋愛にのまれてしまう。結婚相手は自分の人生そのものではない。

【フロアの参加】

- D : 早く結婚するのがよい。姉が23で結婚。保育士の仕事をしつつ、旦那さんも仕事をしていて、幸せに暮らしている。
- E : 20代で仕事に打ち込みすぎると、30~40代になっても結婚できなくなってしまう。
- B : それはあるが、20代からそれに集中する事はない。
- F : 大学の時に、自分のしたいことを見つければよい。卒業してから結婚しても良い。
- B : 大学で将来が決まらなかったら、卒業してからやりたいことを決めるべきなので、20代は仕事に打ち込みたい。
- G : 20代で卒業、良い年収がないのに子供ができたなら、お金が不安定。
- A : 結婚したら子供を生む、という前提での話し合いではない。子どもができたのなら、なおさら支え合う人が必要。

- H : 自分に収入がない場合、早く結婚して子供が生まれてしまったら、無責任。
- H : 結婚しなかったら、親が死んで、いとこや兄弟も死んだら、困る。結婚しないと寂しいと思う。
- C : 一人でも困らないように、老後のために貯めておく。
- H : 家族で旅行に行ったり、ごはんを食べる楽しみがある。
- C : 旅行はきらい。結婚しなくても、一緒に住む人がいてもよい。
- B : 早く結婚した人の方が、家庭内暴力が多い。
- E : 20代だったら蓄えもないし仕事もないといったが、そこで自立しないといつまでたっても自立できないと思う。早めに結婚したほうが、自立できると思う。
- B : もし結婚できなかったらどうするのか、というのが大きな問題。結婚しない=悲しい・さみしいというのは違うと思う。結婚できなかったら、養子を取る。
- I : 結婚しなくても、付き合っているだけでも良いと思う。
- B : 養子がいれば、さみしくない。
- D : 相手を見極める力が必要。
- H : 最初に付き合い始めた時は、家庭内暴力があるわけではないと思う。
- I : そもそも結婚とはなんであるか？
- A : 結婚は家族ぐるみの付き合い。老後、お互いの家族同士で支え合える。
- B : 結婚は、支え合える。でも、良いことばかりではない。相手に問題があるかもしれない。しかし、結婚はするべきだと思う。
- C : 結婚は意味のないもの。
- J : いつと誰がごっちゃになっている。理想の人がいるとして、いつ結婚すべきかを考えるべき。相手も結婚したいとしたら、どのタイミングですべきか？
- B : 理想の相手いるのであれば、それこそ20代は、会社での適応、社会についての知識を得るべき。結婚してしまうと、自分の将来のビジョンがかわってしまう。教育費もある。
- J : 子供のことはここでは考えないでおくこと。
- A : 結婚すると「二人の将来」を考えなければならない。その結婚するまでの年数をどう活用するかが大事。
- G : 5年も待たなくちゃいけないの？
- B : 5年を有効に使うべき。
- F : 結婚していれば、相手の人に、自分のことを考えてもらえる。
- K : 人生は長い。10年付き合っ、ゆっくり相手を見極めるべき。
- D : 理想の人がいるのであれば、嫌なところがあっても、それを許容するべき。許容できないのであれば、その人とは結婚するべきではない。

J : 早く子供が欲しかったから、早く結婚したかった。子供ができなかった点は後悔している。しかしその分、自分に集中できて理想も分かった。人を見極めるにはよかったが、その分理想が高くなった。離婚が怖かった。人生の間、なにがあるかわからない。相手を本当に支えてあげられるのか？

B : 結婚しない=悪い、というイメージがあるが、子どもは作れる。収入があれば独身でも子供がいてもいい。

H : シングルマザーで子どもを育てるのは大変。差別や収入の面から。

B : 収入はある、でも結婚相手は見つからない、その場合は子どもがいた方がよい。癒される。

I : 結婚はふたりのつながりであるので、子供がいる・いないは関係ない。

D : した方がいい。両親が死ぬときに安心できない。

L : 私は28歳で結婚した。結果的に、自分の理想は高くない方が良いと思う。自分と相手の釣り合い方、バランスが大切。また、私は、子供がいて良かったと思う。年齢で子どもへの接し方が違う。年を取るにつれ、ゆったりと落ち着いて付き合えるようになった。結婚してから、自分に子供が必要なのかもわかる。養子と実子なら、実子の方が良い。結婚はタイミング。その時はいつか来る。結婚相手と一緒に成長できると思う。

F : 結婚しないのは悪くないし、遅く結婚しても良いが、自分は早く結婚したい。

M : 安心感と安定感が結婚から得られる。

#### 【パネリストによるまとめ】

A : 彼女のままでいいのでは、という意見には、少し共感したが、結婚したままでも自分の生活は維持できるし、支えてくれる相手の方が良い。

B : 色々な意見がある。視野が狭かった。いろいろなリスクがあるのもわかった。

C : その人が好きになって結婚しても、最初だけ。結婚しても、時間が経てば愛は薄まるのではないか。

N (司会) : それぞれの考えにいいところと悪いところがある。結婚は、人と場合によると思う。

### 保護者カード着用のお願い

保護者の皆様が補習校へ入る場合は、不審者侵入の抑止力として、保護者カードの着用をお願いしています。

## お知らせ

### (授業用の学習ノートについて)

4月当初に小学部で使用する学習ノート(国語・算数)を児童全員に1冊ずつ配布します。

例年、年度当初に新しいノートを購入する方が多く、他の業務と重なった事務職員が対応できずにご迷惑をかけたり、金銭(小切手)のトラブル等を避けるための措置であることをご理解ください。

なお、現在使用中のノートはそのまま上学年で使用することができます。使い終わってから新しいノートに変えていただいても結構ですし、学年の始めから使用していただいても結構です。

### ◆パトロール当番予定表(3月4日)◆

これは当番一覧表に記載された予定です。変更の場合はこの表とは異なりますのでご注意ください。

|             | 学年 | 順位 | 児童生徒氏名   |
|-------------|----|----|----------|
| ★AM1 (リーダー) | 小6 | 26 | 藤井理彩子    |
| AM2         |    | 27 | 北條 詩乃    |
| AM3         |    | 28 | 吉田 琴音    |
| AM4         |    | 30 | 好村 菜吟    |
| AM5         |    | 33 | 山田 爽暉    |
| AM6         |    | 34 | 舟木 陽     |
| AM7         |    | 35 | 片山 結     |
| AM8         |    | 36 | 鞍田 遼太    |
| AM9         |    | 37 | チャンドラー 虎 |
| ★PM1 (リーダー) |    | 39 | 柳内 美帆    |
| PM2         |    | 40 | 向井 拓未    |
| PM3         |    | 41 | 大山 海斗    |
| PM4         |    | 42 | 田中 翔子    |
| PM5         |    | 43 | 森田 陽輝    |
| PM6         |    | 44 | 曾根崎巧真    |
| PM7         | 中1 | 1  | 坂井 由佳    |
| PM8         |    | 2  | 佐藤龍之介    |
| PM9         |    | 3  | 飯塚まりの    |

### お願い

補習校より保護者の皆様に一斉メール配信した際、迷惑メール扱いになっている場合があります。適正に受信できるよう設定していただきますようお願いいたします。

## 来年度の生徒調査票登録は お済みですか？

この登録は、来年度の学級編制、PTA活動等で非常に重要なものになります。登録されていない人は、自動的に退学扱いになります。また、退学（転出）される場合は、必ず届けを事務局に提出してください。

（未提出の場合、授業料を請求し続けることとなります。）

※登録に関するお知らせはメール配信しています。サイトを通して登録してください。

《今後の予定》変更する場合があります

|      |                                        |
|------|----------------------------------------|
| 2/25 | 中3講演会                                  |
| 3/4  | 入園・入学面接（二次）                            |
| 3/18 | 卒園式・卒業式・修了式                            |
| 3/25 | （授業予備日）現在では春休みの予定                      |
| 4/8  | 始業式・入園式・入学式、教科書配布<br>学級記念写真、新年度クラス委員抽選 |
| 4/15 | 新年度PTA役員抽選                             |
| 4/22 | 新年度PTA役員会、                             |
| 4/29 | 避難訓練、新年度PTAクラス委員会<br>PTA総会             |

### 《学籍》

転出

転入

小2C（桑村昂成）

在籍数（2月25日現在）494名

幼40名、小349名、中74名、高31名

Japanese Language Supplementary School of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel: 281-531-6743 / Fax: 281-531-6795（事務局 火～金）

Tel.Fax: 713-973-0659（職員室 土のみ）

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

（文責）校長 立野誠之